

## 第5回「NARA万葉世界賞」贈呈理由

李 妍淑（イ・ヨンスク）氏は、日韓比較文学および韓国古代文学の研究者で、ことに韓国語ではじめて『万葉集』の全訳を完成させた業績は特筆に値する。

『韓国語譯萬葉集』（博而精出版社）は、はじめての韓国語による全訳というだけでなく、日本国内における『万葉集』研究の最新の動向を踏まえた上で、自らの緻密な研究に基づいて詩としての完成度の高さをも追求した書である。韓国の日本文学研究者だけでなく、日本語や日本文化を知らない一般読者にも理解できるように配慮されている。今後、韓国語文化圏の研究者が日本の古代詩歌を理解する際には必読の書となるであろう。

また、李氏は古代韓国の「郷歌」研究者として、『万葉集』との比較研究においても重要な成果をあげている。日本文化と韓国文化とは、地理的には同じ東アジアに位置し、古代にはともに中国の漢字文化を享受した兄弟文化ともいえるが、日本と韓国とでは元来異なる面も多々あり、単純に語彙を置き換えるだけでは十分な翻訳は成り立たない。それぞれの文化の本質をつかみつつ研究・翻訳する必要がある。一方で、学術的な専門用語を駆使し膨大な注釈を施すだけでは、一般読者に読まれる本にはなり得ない。学術的な正しさと詩としての美しさとを両立させるには、極めて高度な比較研究と言語感覚とが要求される。李氏の翻訳は、韓国古代文学にも精通した日韓比較文学研究者としての知識が遺憾なく発揮された、かつてない業績である。

なお、李氏は東義大学校の教授として、次世代を担う研究者も多く育ててきた。また、本賞の受賞は大韓国内のみならず、各国在住の韓国語話者にも影響を与え、日韓の文化交流にもさらに大きく貢献することになるであろう。

よって、第5回「NARA 万葉世界賞」を、李妍淑氏に贈呈することが相応しい。